

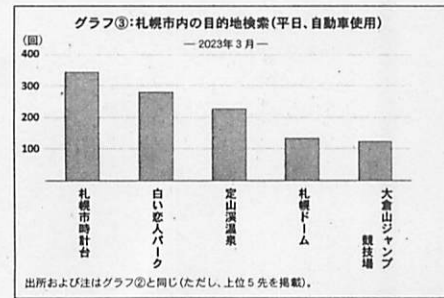
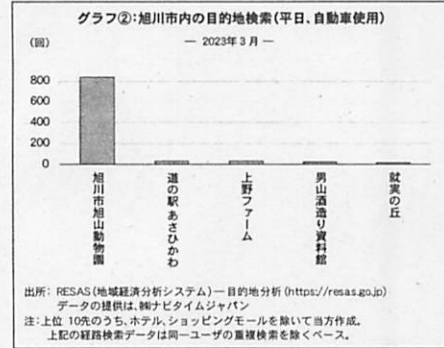
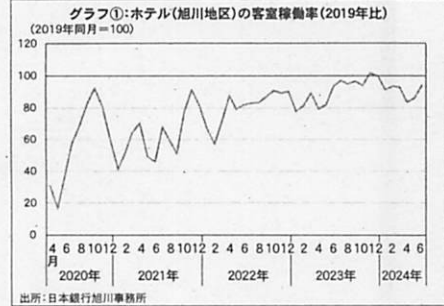
銀事務所長の あさひかわ経済 ウォッチ 12

最近の市内観光

でいるのです。いきなり身近な話題で恐縮ですが、東京では暑さと湿度のために、すっかり足が遠のいてしまっていた夏のバーベキューやビアガーデンもまた、当地では大きな楽しみです。さて、今回は、そうした魅力あふれる旭川について、観光の面からみてみたいと思います。旭川観光

は、旭川大雪圏などの広域エリアにも大きな魅力があることはもちろんですが、以下では身近な市内エリアを取り上げます。まず、宿泊動向です。グラフ①は、旭川地区のホテルの客室稼働率について、コロナ禍前の2019年各月を100とした影響や、道内客をはじめ

昨年の夏に旭川に赴任してから、ちょうど季節が一巡しました。日本では、はつきりとした四季の存在がその魅力だとよく言われますが、その点で旭川は群を抜いています。気温の変化は際立っていますし、ダイナミックに変化する美しい景色や、そうした中での様々な楽しみ方など、四季折々の魅力に富ん



復しているかを示したものです。全国旅行支援などによって振れはありませんが、最近では、おおむね9割程度まで回復していることがわかります。しかし、同時に、コロナ禍前の水準をほとんど超えていくという勢いは感じられず、このところ落ち着きつつあるようにみえることも事実です。この点、宿泊施設等の人手不足の影響や、道内客をはじめ

とする国内客が現在の価格水準にどう反応しているのかなど、需給両面から確認を進めたいと考えています。次に、観光客が旭川市内でどのようなスポットに関心を寄せているのかをみてみます。グラフ②は、人々が自動車で行く場合、ルート検索で入力した目的地の集計データです。目的地を実際に訪問したかどうかまではわからない点にはご留意いただきたいのですが、最も検索されているスポットは旭川市旭山動物園です。同園が、抜群の知名度を誇る強力な観光コンテンツであることは、このグラフからも明らかです。その一方、他の観光スポットの検索回数との間にはかなり大きな差が存在しており、ややもすると一点集中の傾向がある点は少々考えさせられます。ちなみに、グラフ③は、札幌市のケースです。また、函館市や釧路市などをみても、札幌市と同様に緩やかな右肩下がりの形状となっております。旅行者の関心は分散しています。さて、当地の企業経営者によれば、団体旅行から個人旅行へのシフトは以前から進展してきたようですが、こうした変化はコロナ禍を契機に一段と進んでいるとのこと。個人旅行では、訪問目的が個別化し、その限られた目的を果たすと、域内を周遊せずに帰ることが多い傾向にあるとの指摘もあります。こうした環境変化を踏まえると、旭川を訪れる個人旅行者客では、動物園(毎月第四週に掲載します)を見終えると、他のスポットにあまり立ち寄りず

な差が存在しており、ややもすると一点集中の傾向がある点は少々考えさせられます。ちなみに、グラフ③は、札幌市のケースです。また、函館市や釧路市などをみても、札幌市と同様に緩やかな右肩下がりの形状となっております。旅行者の関心は分散しています。さて、当地の企業経営者によれば、団体旅行から個人旅行へのシフトは以前から進展してきたようですが、こうした変化はコロナ禍を契機に一段と進んでいるとのこと。個人旅行では、訪問目的が個別化し、その限られた目的を果たすと、域内を周遊せずに帰ることが多い傾向にあるとの指摘もあります。こうした環境変化を踏まえると、旭川を訪れる個人旅行者客では、動物園(毎月第四週に掲載します)を見終えると、他のスポットにあまり立ち寄りず



【足立祐一(あだちゆういち)】一九七三年、大分県出身。九州大学経済学部卒。金融市場局企画役、国際局企画役、ドイツ・フランクフルト事務所長、調査統計局地域経済調査課長を経て、二〇一三年、旭川事務所長に就任。